

【日時】
2018年
7月8日(日曜)
13:00~17:30

＜会場＞
龍谷大学 響都ホール校友会館
●所在地: (JR京都駅前八条口近くアバンティビル9階)

定員: 200名 参加費: 無料

※12:15より展示会の前覧あり(大ホールロビー及び会議室) 12時から受付開始

柿渋文化の伝承と未来への語り部に！ ～歴史・文化と科学の融合そして革新へ～

【講演内容】

- 13:00-13:15 開会の辞 米森 敬三(龍谷大学農学部 教授)
13:15-13:25 来賓挨拶 京都府
13:25-13:30 開催主旨 松尾 友明(柿渋・カキタンニン研究会 会長)
- 13:30-14:00 第1話「古来、日本人の生活を支えてきた柿渋の力」
今井敬潤(大阪府立大学大学院 客員研究員)
- 14:00-14:30 第2話「伝統工芸・伊勢型紙から見た柿渋の魅力」
内田 勲(伊勢型紙保存会 会長)
- 14:30-15:00 第3話「染色工芸から見た柿渋の魅力と問題点」
小林 泰子(東京家政大学名誉教授・客員教授)
- 15:00-15:30 柿渋展示会の見学と説明会 (大ホールロビーと会議室)
- 15:30-16:10 第4話「フードサイエンスから見た柿渋の魅力」
米谷 俊(近畿大学農学部 教授)
- 16:10-16:50 第5話「特許や文献から見た柿渋の多様な利用とその可能性」
松尾 友明(柿渋・カキタンニン研究会 会長)
- 16:50-17:30 総合討論と展示会の見学と説明会 ※終了後順次片付け

※ 懇親会を18:00より行います (30名限定。申し込み順となります)(会場:アバンティビルB1F)

※ 展示会および説明会は後日詳細をお知らせして、出展と参加をお願い申し上げます。



お問合せ&申込み先



- 柿渋・カキタンニン研究会 ホームページから【メニュー:講演会などお申込み】
<http://kakishibu.tannin.info/>
 - Eメール kaki@tannin.info ● Fax 0774(73)0673 (薬膳レストランあわさい)
- ※ 【7月8日講演会申込み】と題し、お名前・電話・所属・Eメールをご記載下さい。
※ 資料準備のため、できるだけ7月4日(水)までにお申し込みください!

市民講演会及び柿渋展示会

主催: 柿渋・カキタンニン研究会
後援: 京都府木津川市、京都府精華町